

図書館だより

☆2023松陵生によく読まれた本☆

☆『桜のような僕の恋人』(宇山佳佑 集英社 2017)

カメラマン見習いの晴人と、新米美容師の美咲。恋に落ちた二人だが、美咲は人の何十倍もの早さで年をとる難病を発症する。しかも、治療法はないと告げられ…。切なく哀しいラブストーリー。

☆『文豪ストレイドッグス 太宰治の入社試験』(朝霧カフカ KADOKAWA 2015)

現代横浜を舞台に、中島敦、太宰治、芥川龍之介といった文豪たちが繰り広げる異能アクションバトル漫画をノベライズ。漫画、ノベライズともに大人気です。一気に読みする人も多く、漫画を読んで文豪の原作に挑戦した人もいます。

☆『六人の嘘つきな大学生』(浅倉秋成 KADOKAWA 2021)

成長著しいとあるIT企業が初めて行う新卒採用を巡る物語。ラスト30ページの大どんでん返しが、あなたに衝撃を与えます。多くの伏線があり、採用担当者と学生の微妙な心理戦が描かれています。本格ミステリーを楽しむことができる本です。

☆『満月の夜に君を見つける』(冬野夜空 スターツ出版 2019)

世界の色が一瞬で変わる。モノクロだった景色が突然鮮やかに輝きだす。そんな永遠の恋を描き出した作品。高校生のリアルな恋愛を描きながらも、ファンタジー要素もあり、あっという間にその世界に惹きつけられてしまうでしょう。

☆『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』(汐見夏衛 KADOKAWA 2023)

現代の女子高生・百合が1945年の日本にタイムスリップし、そこで出会った彰にどンドン惹かれていくが、彼は特攻隊員だった。二人の時を超えた恋に、涙なしで読むことは出来ない。この冬、映画化もされています。後編の『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』も読んで、百合のその後を見届けてください。

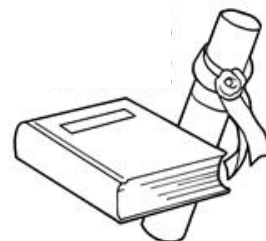
☆『岸辺露伴は戯れない』(荒木 飛呂彦原作 集英社 2018)

仙台市出身のマンガ家荒木飛呂彦の『ジョジョの奇妙な冒険』登場する漫画家岸辺露伴を主人公にした小説集。こちらのシリーズは、昨年度に引き続き人気です。

松陵高校図書館で
貸出の多かった本を
紹介します
あなたは何冊
読みましたか？

☆3年生のみなさんへの貸出は終了します☆

3年生の貸出は1月31日(水)で終了します。今後は返却のみ受け付けます。
進学先からの課題などで、どうしても図書館の利用が必要な場合はご相談ください。



☆行方不明の本を探しています☆

冬休み中に図書館の蔵書点検を行いました。その結果、行方不明になっている本があることがわかりました。
各クラスに掲示してある所在不明リストに掲載されている本をお持ちの方は、貸出処理がされていないのですぐに図書館へお返しください。昨年度も行方不明だった本が教室や部室などからみつかっています。
見つけた方は図書館、または昇降口の返却ポストにお返しください。図書館の本は学校の大切な財産です！